

新型コロナ ウイルスの 正しい 知識と予防法

ワクチン打っ
たらマスクは外し
て良いの？

ワクチンを打っ
てもマスクは必要
です！

接種済



I. 新型コロナウイルスに対するワクチンの効果 「重症化予防」

報道されているように、ワクチンを接種しても新型コロナウイルスに感染する場合があります(ブレイクスルー感染)。しかし、ワクチンを接種することで感染しても重症化を防ぐ効果があります。

II. マスクをつける目的 「ウイルスの拡散・侵入防止」

新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種の有無に関わらず、症状が出ないまま経過することがあります。この無症状感染の場合でも、唾液や咳などの飛沫にはウイルスが含まれ、会話などで知らず知らず感染を広げてしまう恐れがあります。

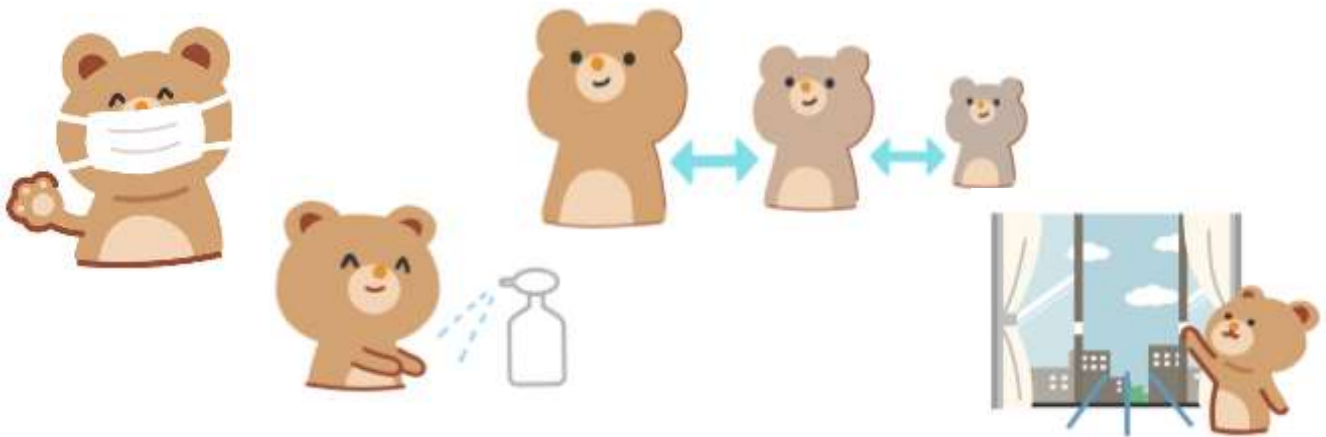
マスクは、会話時の唾液や咳・くしゃみで放出されるウイルスの拡散を防ぎます。また、マスクをつけることで他者の飛沫に含まれるウイルスが鼻や口から侵入することを防ぎます。

Ⅲ. ワクチン接種後もマスクを継続

「自分と家族や友人を感染から守るために」

ワクチン接種後も100%の感染予防効果はなく、自分が感染したり、他者に感染させる可能性があることがお分かりいただけましたか？ これらを防ぐために、これからもマスクを着けることは大切です。

「マスク」・「手洗い・手指消毒」・「ソーシャルディスタンスの確保」・「換気」など、基本的な感染対策を行い、感染を防いでいきましょう。



Ⅳ.正しいマスクのつけ方



- * 鼻のワイヤーを隙間ができないようフィットさせましょう。
- * マスクのプリーツを伸ばして顎までしっかり覆いましょう。
- * 会話で鼻が出てしまうマスクは、サイズが合っていません。
- * マスクの素材は様々ありますが、できれば不織布マスクがおすすめです。
- * マスクに触れる前と触った後には、手を洗いましょう。

2021.8

■理念
赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し、質の高い医療を提供します

■基本方針
1. 患者様の人権と意思を尊重した病院環境を造ります 2. 急性期医療を中心にして診療を進めます 3. 救急医療の充実に努めます 4. 地域の医療機関等との連携を推進します
5. 国内外の災害時の医療活動に貢献します 6. 職員の教育、研修を充実させます 7. 健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

■私たちは患者さまの権利を尊重します
1. 適切な医療を受ける権利 2. 医療に関して知る権利 3. 医療行為を自分で選ぶ権利 4. プライバシーを保障される権利 5. 人権を尊重される権利 6. セカンドオピニオンを受ける権利

～当院は地域と連携し救急患者を夜間、休日または深夜を含む24時間診療することのできる体制を整えております。担当医師は正面玄関啓示にてご確認下さい～